



九頭竜山下流

# 光明寺用水

光明寺用水は、越前福井初代藩主結城秀康が城下町の整備とあわせ開削した芝原用水の内輪の支線にあたります。

平成7年から水環境整備が行われ、護岸は景観に配慮した張り石が施工されました。

この整備事業の際、福井産の笏谷石を積んだ水路護岸が現れ、当時の用水路の状況を知る貴重な資料となりました。

現在も光明寺用水は、旧福井城下を流れたあと、下流の水田のかんがい用水として利用されています。

